

文書情報管理士

合格者からの一言

2021年夏試験は2021年7月20日(火)から2021年8月31日(火)まで全国約260箇所で開催されました。受験対策セミナーについても冬試験と同様、新型コロナウイルス感染防止策の観点から、オンラインによる動画配信形式で行われました。

今回は、上級合格者35名、1級合格者77名、2級合格者210名と合計322名の方が見事に合格されました。合格された方の中から試験に関する貴重なコメントをいただいたので紹介します。

- ①文書情報管理士検定試験はどこでお知りになりましたか？
- ②受験の動機は？(受験のきっかけ)
- ③学習時間は？
- ④どこに重点をおいて学習しましたか？苦手な部分なども
- ⑤受験対策セミナーは受けましたか？
- ⑥コンピュータ試験は便利でしたか？ どのところが便利でしたか？ どのところが不便でしたか？
- ⑦受験した感想、改善して欲しい点
- ⑧今後この資格をどのように活かしていきますか？

よりた みつはる
依田 光晴 さん

ムサシ・アイ・テクノ株式会社
データマニファクチャリング課・主任

上 級

- ①JIIMAの公式Webサイトおよび、弊社部署内の推奨されている資格として知っておりました。
- ②官公庁や自治体の電子化業務における入札参加要件として有資格であることが求められている為。
- ③約10時間。
- ④上級試験の出題項目として、主にプロジェクトマネジメントの知識体系であるPMBOKを中心に知識エリアやプロセス群の理解に務めました。また、マイクロフィルムの基礎的な事柄やコンプライアンス等の業務に関わるガイドラインについても学習しました。
- ⑤はい。(オンラインセミナー)
- ⑥はい。試験会場が多いというメリットや、後で見直し

- たい出題箇所も把握しやすく便利でした。
- ⑦新型コロナウイルス感染防止対策として、今までの対策セミナーからオンデマンドの動画配信になり不安はありましたが、配信期間中は何度でも動画を見られたので、より重点的に理解を深めることが出来大変助かりました。
- ⑧上級試験では業務におけるプロジェクトマネジメント関連や法令についての知識が問われる出題が多くありました。これらの試験内容で得た情報を活かせるよう、業務内容の改善や知識のアップデートを図りたいと思います。

なかむら まこと
中村 誠 さん

日本ICS株式会社
システム開発部 主任

上 級

- ①上司に文書情報管理士の資格のことを教えていただき、検定試験があるということを知りました。
- ②弊社が推奨している資格であり、興味があったため。
- ③約30時間。
- ④マイクロフィルムは聞きなれない言葉が多く、苦手意識があったので重点的に学習しました。理解できていない箇所は、テキストを何度も見直し理解できるまで見直すことを徹底しました。
- ⑤はい。(オンラインセミナー)
- ⑥はい。日程調整しやすく、密になりにくい環境で試験

- を受けられ、試験会場を選べるのが便利でした。
 - ⑦試験終了後に結果が表示されますが、どこを間違えたのが詳細を確認できないため、間違えた箇所を確認できるようにしていただきたいです。
 - ⑧電子帳簿保存法などの知識を今後の業務で活かしたいと思います。
- また、検定試験に挑戦する社員へのアドバイスをを行い、幅広い知識を持った人材の育成が出来ればと考えています。

- ①JIIMAのホームページで知りました。
- ②1級を取得していたので、更に上位級を目指したいと思い、受験しました。
- ③約60時間。
- ④PMBOK：米国プロジェクトマネジメント協会の知識体系について、詳細内容も含めて、重点的に学習をしました。自分の中で、不足している知識を得ることができたと思います。
- ⑤いいえ。
- ⑥はい。自分で、学習の進み具合、他スケジュールとの調整ができるところが、便利でした。また試験終了後、すぐに結果が出るのも、良いと思います。
- ⑦誤りがあったところが、わからない部分はありますが、これはどの試験でも同じかなと思います。
- ⑧お客様に最適な提案を行い、使いやすい文書管理・電子化ファイルの活用を実感していただき、電子化事業を活性化していきたいと考えています。

- ①他の社員が受験、有資格者だったことで知りました。
- ②弊社が電子データ化サービスを事業としているため、普段の業務に必要な知識を深めるために受験しました。
- ③約10時間。
- ④有資格者のアドバイスもあり、上級試験は「プロジェクトマネジメント」を重点的に勉強しました。また、1級・2級の試験で出題されたポイントをマーキングし、「マークキングしたところをノートに書き写し、音読する」というのを繰り返し行いました。
- ⑤いいえ。
- ⑥はい。都合に合わせて日時・受験会場を選べるのと、その場で合否がわかるのがよかったです。
- ⑦さらに知識を深めるために、間違った箇所がわかると復習できるので助かります。
- ⑧お客様に上級資格者がいることの安心感を抱いていただくとともに、私自身、自覚をもち信頼していただくことに努めます。それにより弊社を利用するお客様を増やし、販売拡大に貢献して参ります。自身の中に留まらず、他の社員へ知識とノウハウの共有を積極的に行って参ります。

- ①上司からの紹介で、このような資格があることを知りました。
- ②3年前に2級を取得しましたが、業務の多角・効率化や自身のスキルアップのため、さらに高い知識を得たいと思ったためです。
- ③約30時間。
- ④法律面などは問題なかったのですが、どうしてもマイクロフィルム・現像などで苦手な面が目立ち、本試験が近づくとこうした苦手面を克服・補完することに重点を置きました。
- ⑤はい。(オンラインセミナー)
- ⑥はい。前回同様すぐに結果が出ることに加えて、コロナ感染予防の面からも分散した形で試験を受けられた点。
- ⑦受験対策セミナーのオンライン化によって、受けたい時や場所で受講できるだけでなく分らなかった内容を再受講できるなど利点が多いため、今後も続けて欲しいです。
- ⑧コロナ禍によるテレワークやDXの普及により文書情報管理士の役割が今以上に求められる時代、グループだけでなく外部の企業とも積極的に手を組み自社の規模拡大に貢献したいです。

- ①弊社の取得推進資格のひとつであり、詳細はJIIMAのHPで知りました。
- ②弊社は企業における情報記録管理サービスを提供しており、マネジメント及び実務に関わる要員として本資格を取得しておくことは業務において役に立つと考えました。
- ③約30時間。
- ④公式サイトでの模擬試験から問題とその解答の選択肢にあげられている内容についてテキストを読み込んでいきました。そのうえでセミナーを受講し、効率的にポイントを抑えることが出来ました。マイクロフィルムについては予備知識があまりなく、ほとんど丸暗記状態で試験に臨みました。
- ⑤はい。(オンラインセミナー)
- ⑥はい。試験日や場所を自由に選べること。解答に迷った問題を再確認する際に自分の解釈の傾向が分かりやすく時間配分に役立ちました。
- ⑦文書情報管理の基礎から、マネジメント、マイクロ、法規と満遍なく必要な基礎知識が身に付き苦手な分野も明確になり良かったと思います。セミナーはもう少し配信期間が長ければもっと受講しやすいと思います。
- ⑧更に文書情報管理への理解を深め提供するサービスに深みと幅を得られるよう次のステップにチャレンジしたいと思います。

文書情報管理士

合格者からのひと言

2022年冬試験は2021年12月20日(月)から2022年2月10日(木)まで全国約300箇所で開催されました。受験対策セミナーについても、新型コロナウイルス感染防止策の観点から、オンラインによる動画配信形式で行われました。

今回は、上級合格者36名、1級合格者118名、2級合格者334名と合計488名の方が見事に合格されましたので、合格された方の中から試験に関する貴重なコメントをいただいたので紹介します。

- ①文書情報管理士検定試験はどこでお知りになりましたか?
- ②受験の動機は?(受験のきっかけ)
- ③学習時間は?
- ④どこに重点をおいて学習しましたか?苦手な部分なども
- ⑤受験対策セミナーは受けましたか?

- ⑥コンピュータ試験は便利でしたか?
どうところが便利でしたか? どうところが不便でしたか?
- ⑦受験した感想、改善して欲しい点
- ⑧今後この資格をどのように活かしていきますか?

あら き まさゆき
荒木 雅之 さん

ピーイーシー株式会社
情報技術部 部長

上 級

- ①官公庁入札の応募資格要件に、本資格の有資格者の記載があり知りました。
- ②・前述の応募資格要件を満たすため。
・学習内容が業務に直結するため。
・部員へ本資格を奨励するにあたり、先ずは自身が身につけるため。
- ③約20時間。
- ④マイクロフィルムは実業務で活用した経験もほとんどなく、知識的に乏しいところがあったため、一番苦戦した分野でした。二級、一級試験で基礎的な部分はある程度理解できていたため、苦手分野に学習時間の多くを割きました。

- ⑤はい。(オンラインセミナー)
- ⑥はい。試験会場、時間帯を任意で選択できるため、試験日程調整に融通を利かせることができました。
- ⑦不正解の問題と正答のフィードバックがあると、誤った認識を正すことができるため役に立つと感じました。誤った認識を持った状態での資格取得を避けることにも有益かと思えます。
- ⑧学習で身につけた知識を弊社電子化業務のサービス充実強化へ繋げ、お客様にも満足安心していただけるような提案を行えるようにしていきたいと考えています。

さいとう けんいち
斎藤 賢一 さん

SGシステム株式会社
BPO事業部 有明BPSセンター

上 級

- ①個人的にインターネットで紙文書の電子化技術の動向について調べていたところ、偶然当検定の存在を知りました。
- ②膨大な電子化文書を取り扱う業務に従事しており、文書情報マネジメントに係る専門知識を体系的に習得する良い機会であると思い受験しました。
- ③約30時間。
- ④上級で試験範囲となるプロジェクトマネジメント分野を重点的に学習しました。既に2級・1級で学習した内容は軽く復習する程度でしたが、実務経験に乏しいマイクロフィルム分野には多くの時間を費やしました。
- ⑤はい。(オンラインセミナー)

- ⑥はい。操作がとても簡単であり、解答を鉛筆で塗りつぶす煩わしい作業を伴うマークシート式よりも、問題を解くことに集中できました。
- ⑦公式HPに公開されている模擬試験の問題数は少なく、参考書とセミナー受講によるインプット学習に頼らざるを得ないのが実状です。質・量ともに充実した問題集があると、より対策しやすいと思います。
- ⑧文書情報マネジメントの視点から、個別業務の役割や位置づけを捉え直し、その生産性・効率性の向上に繋がる具体的施策を提案・推進していけるよう、今後も研鑽に励みたいと思います。

むらかみ ともり
村上 智則 さん

公益財団法人 日本財団
公益事業部 国内事業開発チーム リーダー

1 級

- ①JIIMAのホームページを拝見して知りました。
- ②官公庁の入札に携わる機会があり、要件の1つとして定められていることがきっかけです。
- ③約25時間。
- ④これまでの業務経験で、ISOや関連法規については触れていましたが、マイクロフィルムについては、ほとんど予備知識がありませんでしたので、この分野を重点的に学習しました。
- ⑤はい。(オンラインセミナー)
- ⑥はい。自分の都合に合わせて、豊富な選択肢から、試験場所や日程を決められる点と、採点が早く、試験終了と同時にその場です

- ぐに結果が分かる点が便利に感じました。
- ⑦試験でどの問題を間違えたのが、正確に把握して復習をしたかったのですが、試験結果のレポートだけでは把握が難しかったので、記載項目についてもう少し詳細を入れて頂けるとありがたく思いました。
- ⑧試験勉強を通じて、文書情報の管理や紙文書の電子化などについて、体系的な知識習得ができたかと思えます。今後、この知識を活用して、組織内のより一層の適正文書管理に努めて参りたいと考えています。

ずし ゆき
厨子 由貴 さん

シティコンピュータ株式会社
BPO事業部 公共IT推進部

2 級

- ①上司(有資格者)の紹介。
- ②クライアントの文書情報を取り扱う部署に所属しているため、専門知識を深めたく受験しました。
- ③約15時間。
- ④参考書を一通り読み込み、聞き慣れない専門用語を重点的に覚え直しました。マイクロフィルムの分野は知らない用語が多かったので、時間を掛けました。
- ⑤いいえ。(受験の申し込みが、試験直前だった為参加できず)
- ⑥はい。試験会場が近所に数か所あり、なおかつ日程が複数あった

- ので選びやすかったところ。
- ⑦これまで曖昧だった内容が、テキストの読み込みでしっかり自分の知識にすることができました。今後の為に、誤回答だった問題とその回答を確認できるようにして頂きたいです。
- ⑧まだ電子化が進んでいない企業や組織に対して、ペーパーレス化の推奨をする際に、この資格勉強で学んだ事を活かしていきたいです。また入札へ積極的に参加することにより、ビジネスチャンスを拡張したいです。